

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

1 事業の成果

(1) 心理社会的支援活動事業

(ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、男女区別なくがんが発症した患者のためのサポートグループや乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための女性サポートグループ、再発や転移を経験した患者のためのサポートグループ、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象としたサポートグループを編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た柏サポートグループと大阪マラソンの寄附金による大阪サポートグループを企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1~2回、年間147回開催し、延べ650人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。このほか、Zoomを活用した「オンラインサポートグループ」を毎月2回、年間20回開催し、延べ50人に提供した。

(イ) 第5回とわの会：令和5年10月21日(土)に事務所において、サポート事業に参加し、その後亡くなった患者の遺族に対するプログラムとして、第5回とわの会を開催し、3人が参加した。

(ウ) 就労相談事業

がん治療と就労の両立に向けたがん患者向けの就労支援として令和5年度より開催し、対面/オンラインで8回の相談にあたった。

(エ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族5人に対して対面/電話でアドバイスをを行った。

(2) 技術的支援活動事業

(ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①ヨガ講座を月2回、計21回開催、延べ146人が参加、②アロマセラピー講座を月1回、計9回開催、延べ31人が参加、③自律訓練法講座を月2回、計4回開催、延べ5人が参加、④コーラス講座(合唱団いきのちから)を月2回、計24回開催、延べ334人が参加、⑤令和5年度から新たに体操講座を年2回開催、延べ13人が参加、5種の講座合計60回開催、延べ529人のがん患者及び家族に対し提供した。

(3) 普及啓発活動事業

(ア) ジャパンキャンサーサバイバーズデイ 2023

日本対がん協会が主催し、がん患者・家族のために支援情報を提供するイベント「ジャパンキャンサーサバイバーズデイ 2023 (令和5年6月4日(土)、於：国立がんセンター築地キャンパス)」にブース出展し、広く市民に対するがん啓発を行った。

(イ) 第 30 回全国地域安全運動豊島区民大会

豊島区と地元警察・防犯協会・町会連合会の共催で開催されたイベント「第 30 回全国地域安全運動豊島区民大会（令和 5 年 10 月 6 日（金）、於：帝京平成大学沖永記念ホール）」にて、当法人の「合唱団いきのちから」が招へいされ、豊島区民へのがん啓発を行う機会を得た。

(ウ) 令和 5 年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート 2023

豊島区と共催し、がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした豊島区主催の「令和 5 年度豊島区がん対策推進特別講演会」とがんサポートコミュニティ主催の「がん患者が歌う合唱団いきのちからコンサート 2023」をジョイントさせ、令和 5 年 12 月 18 日（月）にとしま区民ホール小ホール（東京）にて池袋保健所の指導のもと感染症対策を講じて開催、100 人が参加した。令和 5 年度豊島区がん対策推進特別講演会では講師の土屋淳郎氏（公益社団法人豊島区医師会会長）に「高齢者とがん—在宅医療と看取り」をテーマに講演いただいた。合唱団いきのちからコンサート 2023 ではがん体験者がソプラノ/アルト/テノール/バスに分かれ、童謡メドレー/心の瞳/ペチカ/クリスマスメドレー/銀河鉄道 9 9 9 の全 5 曲を合唱した。

(エ) 教育研修事業

将来、サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイ株式会社との共催により令和 6 年 1 月 20 日（土）～21 日（日）にエーザイ東京コミュニケーションオフィス（東京）で実施され、24 人が参加した。

(オ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに寄付するチャリティマラソンとして令和 6 年 2 月 25 日（日）に大阪マラソン 2024 として開催され、チャリティランナー 11 人が参加した。2 月 23 日（金）～24 日（土）にインテックス大阪で開催された EXPO2024 では、ランナー 3.2 万人に対する「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざした、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上の普及啓発活動を実施した。

(カ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。19 回開催し、24 組が参加した。

(キ) ホームページ・SNS によるイベント等告知・活動報告

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために、ホームページ・SNS を活用したイベント告知・活動報告を行った（ホームページにおけるお知らせ掲載回数：年 61 回）。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修 2023

日本対がん協会との共催、厚生労働省後援で、患者・市民参画に資する人材を育成するための研修「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修 2023（令和 5 年 10 月 8 日（日）～9 日（祝）、於：Lstay&grow 南砂町）」を開催した。がん患者・支援者・医療者・市民などに広く参加を募り、がん患者向けの食事、治療と仕事、治療とお金、緩和ケア、薬物療法、リハビリ、ピアサポート、第 4 期がん対策推進基本計画など、さまざまな角度で 11 の講座を提供し、158 人が参加した。

(イ) 患者に関する意識調査

全国 20～80 歳のがん患者 700 人、がん患者家族 700 人、慢性疾患患者 700 人を対象に、医療従事者から入手した情報が理解できなかった、疑問があった場合、その解決に際して情報をどのように入手しているか、入手した情報に満足できたか等、インターネット調査 (RAKUTEN Insight) を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 27,226 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業:患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを実施。	日曜祝祭日を除く毎日	事務所	11人	がん患者・家族	650人	11,401
	サポート事業:Zoomを活用した「オンラインサポートグループ」を実施。	毎月1回	事務所	6人	がん患者	50人	
	患者交流事業:がん患者の遺族と交流する「とわの会」を実施。	10月21日	事務所	6人	遺族	3人	
	就労相談事業:患者に対し両立支援を目的にキャリアコンサルタントによる就労相談を希望に応じて対面/電話で実施。	随時	事務所	1人	がん患者	8人	
	医療相談事業:患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて対面/電話で実施。	原則として水曜日	事務所	2人	がん患者・家族	5人	
技術的支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するヨガの指導を実施。	原則第1・3木曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	146人	2,847
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するアロマセラピーの指導を実施。	原則第3金曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	31人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法の指導を実施。	原則第1・2火曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	5人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するコースの指導を実施。	原則第1・3月曜日	南大塚地域文化創造館	4人	がん患者・家族	334人	

技術的 支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する体操の指導の実施。	随時	事務所	1人	がん患者 ・家族、 市民	13人	
普及啓発 活動事業	広く市民に対するがん啓発を目的とした「ジャパン・キャンサーサバイバーズ・デイ 2023」に参画。	令和5年 6月4日	国立がんセンター築地 キャンパス	6人	がん患者 ・家族、 市民	389人 (来場者)	5,720
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「第30回全国地域安全運動豊島区民大会」に参画。	令和5年 10月6日	帝京平成大学沖永記念 ホール	3人	がん患者 ・家族、 市民	300人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした令和5年度豊島区がん対策推進特別講演会&がん体験者が歌う合唱団いきのちからコンサート2023に参画。	令和5年 12月18日	としま区民 ホール 小ホール	8人	がん患者 ・家族、 市民	100人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」を実施。	令和6年 1月20日 ~21日	エーザイ 東京コミュニケーション オフィス	5人	関東圏の がん専門 相談員	24人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソン EXPO」に参画。	令和6年 2月23日 ~24日	インテックス 大阪	0人	市民	32,000人 (来場者)	
	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催。	原則として 金曜日	事務所	4人	がん患者 ・家族	24人	
	YouTube チャンネル運営	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	500人	
	ホームページ・SNS 運営	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	10,000人	
	機関紙「News Letter」の発行。	随時	事務所	10人	がん患者 ・家族、 市民	300人	
広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリ CAN.」を開発、運営。	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	1,000人		

普及啓発 活動事業	活動報告のための年次報告書の送付。	令和6年 3月	事務所	2人	賛助会員	90人	
調査研究及び 情報交換事業	患者・市民参画に資する人材育成のための「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修2023」を開催。	令和5年 10月8日 ~9日	Lstay&grow 南砂町	15人	がん患者 ・家族、 市民	158人	7,258

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				

令和5年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		4,320,000
正会員受取会費	110,000	
賛助会員受取会費	4,210,000	
2 受取寄附金		8,996,289
受取寄附金	8,996,289	
3 受取助成金等		3,586,000
受取協賛金	3,400,000	
受取受託金	186,000	
4 事業収益		912,070
心理社会的支援活動事業収益	33,000	
技術的支援活動事業収益	540,500	
普及啓発活動事業収益	90,000	
調査研究及び情報交換事業収益	248,570	
5 その他の収益		431
受取利息	431	
経常収益計		17,814,790
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		14,817,132
給料手当	8,798,478	
特別手当	2,568,400	
法定福利費	1,410,754	
中退共保険料	460,000	
サポーター費用	1,579,500	
(2) その他経費		12,408,678
広報活動費	807,830	
旅費交通費	2,598,140	
催事費用	258,187	
調査費用	1,823,800	
交際費	16,500	
通信費	345,091	
運賃	7,712	
消耗品費	531,379	
事務用品費	402,390	
会議費	1,465	
修繕費	62,800	
家賃	3,326,400	
水道光熱費	206,967	
リース料	398,422	
会場使用料	934,076	
支払手数料	603,499	
減価償却費	84,020	
事業費計		27,225,810
2 管理費		
(1) 人件費		2,846,547
給料手当	2,078,252	
特別手当	447,000	
法定福利費	290,495	
福利厚生費	6,800	
中退共保険料	24,000	
(2) その他経費		724,719
旅費交通費	114,400	
交際費	2,670	
通信費	2,740	
租税公課	200	
消耗品費	1,939	
事務用品費	75,325	
会議費	17,520	
保険料	27,770	
諸会費	12,200	
修繕費	11,000	
家賃	369,600	
水道光熱費	22,997	
リース料	44,270	
支払手数料	7,700	
雑費	1,000	
減価償却費	13,388	
管理費計		3,571,266
経常費用計		30,797,076
当期経常増減額 【A】 - 【B】		-12,982,286

【C】	經常外収益		
	固定資産売却益	0	
	過年度損益修正益	0	
經常外	収益計		0
【D】	經常外費用		
	固定資産売却損	0	
	災害損失	0	
	過年度損益修正損	0	
經常外	費用計		0
当期	經常外増減額【C】-【D】・・・②		0
税引前	当期正味財産増減額①+②・・・③		-12,982,286
	法人税、住民税及び事業税・・・④		
	前期繰越正味財産額・・・⑤		55,300,158
次期	繰越正味財産額③-④+⑤		42,317,872

令和5年度 貸借対照表

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	41,799,498	41,929,298
	前払金	129,800	
	流動資産合計・・・①		41,929,298
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		108,714
	工具器具備品	108,714	
	(2)無形固定資産		42,840
	電話加入権	42,840	
	(3)投資その他の資産		562,800
	敷金	562,800	
	固定資産合計・・・②		714,354
【A】	資産合計 ①+②		42,643,652
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	157,220	325,780
	預り金	168,560	
	流動負債合計・・・③		325,780
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		325,780
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	55,300,158	
	当期正味財産増減額	-12,982,286	
	正味財産合計		42,317,872
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		42,643,652

令和5年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

工具器具備品の減価償却は定額法によっています。

(3) 引当金の計上基準

該当なし

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動報告書に計上しています。

また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	心理社会的 支援活動事業	技術的支援 活動事業	普及啓発 活動事業	調査研究及び 情報交換事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	110,000	110,000
正会員会費							
賛助会員会費	1,894,500	378,900	757,800	757,800	3,789,000	421,000	4,210,000
2. 受取寄附金	4,048,330	809,666	1,619,332	1,619,332	8,096,660	899,629	8,996,289
3. 受取協賛金				3,400,000	3,400,000	0	3,400,000
受取受託金			186,000		186,000	0	186,000
4 事業収益	33,000	540,500	90,000	248,570	912,070	0	912,070
5 その他の収益					0	431	431
経常収益計	5,975,830	1,729,066	2,653,132	6,025,702	16,383,730	1,431,060	17,814,790
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	4,399,239	879,847	1,759,696	1,759,696	8,798,478	2,078,252	10,876,730
特別手当	1,284,200	256,840	513,680	513,680	2,568,400	447,000	3,015,400
法定福利費	705,377	141,075	282,151	282,151	1,410,754	290,495	1,701,249
福利厚生費					0	6,800	6,800
中退共保険料	230,000	46,000	92,000	92,000	460,000	24,000	484,000
サポーター費用	909,500	625,000	45,000	0	1,579,500	0	1,579,500
人件費計	7,528,316	1,948,762	2,692,527	2,647,527	14,817,132	2,846,547	17,663,679
(2) その他経費							
旅費交通費	796,570	216,216	888,662	696,692	2,598,140	114,400	2,712,540
広報活動費用	133,925	26,785	522,325	124,795	807,830	0	807,830
調査費用				1,823,800	1,823,800	0	1,823,800
交際接待費	8,250	1,650	3,300	3,300	16,500	2,670	19,170
催事費用			22,977	235,210	258,187	0	258,187
通信費	172,546	34,509	69,018	69,018	345,091	2,740	347,831
租税公課					0	200	200
運賃			7,712		7,712	0	7,712
消耗品費	206,870	162,213	81,148	81,148	531,379	1,939	533,318
事務用品費	201,195	40,239	80,478	80,478	402,390	75,325	477,715
保険料					0	27,770	27,770
会議費			1,465		1,465	17,520	18,985
諸会費					0	12,200	12,200
修繕費	31,400	6,280	12,560	12,560	62,800	11,000	73,800
家賃	1,663,200	332,640	665,280	665,280	3,326,400	369,600	3,696,000
水道光熱費	103,484	20,697	41,393	41,393	206,967	22,997	229,964
リース料	199,211	39,843	79,684	79,684	398,422	44,270	442,692
会場使用料	270,820			663,256	934,076	0	934,076
支払手数料	42,958	8,592	534,765	17,184	603,499	7,700	611,199
雑費					0	1,000	1,000
減価償却費	42,010	8,402	16,804	16,804	84,020	13,388	97,408
その他経費計	3,872,439	898,066	3,027,571	4,610,602	12,408,678	724,719	13,133,397
経常費用計	11,400,755	2,846,828	5,720,098	7,258,129	27,225,810	3,571,266	30,797,076
当期経常増減額	-5,424,925	-1,117,762	-3,066,966	-1,232,427	-10,842,080	-2,140,206	-12,982,286

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
 当法人の正味財産は 42,317,872 円ですが、そのうち 1,176,200 円は、下記のように使途が特定されています。
 したがって使途が制約されていない正味財産は41,141,672円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
調査研究及び情報交換事業協賛金	3,000,000		1,823,800	1,176,200	翌期に使用予定の調査研究及び情報交換事業の活動資金
合計	3,000,000	0	1,823,800	1,176,200	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	206,122			206,122	△97,408	108,714
無形固定資産						
電話加入権	42,840			42,840		42,840
投資その他の資産						
敷金	562,800			562,800		562,800
合計	811,762	0	0	811,762	△97,408	714,354

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計	0	0
(貸借対照表)		
貸借対照表計	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

- ・ 収入に関して、年間登録料、賛助会費及び寄付金については使用割合によって、事業費（90%）、管理費（10%）に按分した。さらに事業費について心理社会的支援活動事業（50%）、技術的支援活動事業（10%）、普及啓発活動事業（20%）、調査研究及び情報交換事業（20%）に按分した。なお、収入のうち正会員費については100%管理費とした。
- ・ 支出に関して、事業部門に直接関係する経費はその事業部門に配賦し、共通については以下の基準で按分した。地代家賃水道光熱費、リース料については、建物面積比によって事業費（90%）、管理費（10%）に按分した。また事業内の人件費及び共通の経費については、使用割合によって心理社会的支援活動事業（50%）、技術的支援活動事業（10%）、普及啓発活動事業（20%）、調査研究及び情報交換事業（20%）に按分した。

・ その他の事業に係る資産の状況

該当なし

令和5年度 財産目録

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

科	目	金額	小計	合計
【A】	資産の部			
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	107,077		
	みずほ銀行 普通預金 赤坂支店	7,407,942		
	みずほ銀行 普通預金 神谷町支店	7,767,359		
	三井住友銀行 普通預金 赤坂支店	12,951,680		
	三菱UFJ銀行 普通預金 虎ノ門支店	13,482,767		
	郵便振替口座	82,673	41,799,498	
	前払金			
	外部講演用パソコン	129,800	129,800	
	流動資産合計・・・①			41,929,298
2	固定資産			
	（1）有形固定資産			
	工具器具備品			
	空気清浄機	14,174		
	ノートパソコン	1		
	パソコン	1		
	WEBカメラ	94,538	108,714	
	（2）無形固定資産			
	電話加入権			
	虎ノ門ガーデン事務所	42,840	42,840	
	（3）投資その他の資産			
	敷金			
	虎ノ門ガーデン事務所	562,800	562,800	
	固定資産合計・・・②			714,354
【A】	資産合計 ①+②			42,643,652
【B-1】	負債の部			
1	流動負債			
	未払金		157,220	
	3月分社会保険料	152,400		
	ドコモ携帯電話料金	4,820		
	預り金		168,560	
	源泉徴収税	64,060		
	社会保険料	74,700		
	住民税	29,800		
	流動負債合計・・・③			325,780
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④		0	0
【B-1】	負債合計 ③+④			325,780
【B-2】	正味財産合計 【A】 - 【B-1】			42,317,872

1

令和5年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○(理事)・監事	アツミ 効斗		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		渥美 隆之			
2	○(理事)・監事	エンドウ キミヒサ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		遠藤 公久			
3	○(理事)・監事	タカ ヨシヒデ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		田中 義英			
4	○(理事)・監事	ナカガミ ユコ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中神 百合子			
5	○(理事)・監事	オハラ ヒデモリ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		奥原 秀盛			
6	○(理事)・監事	カタヤマ カズヒロ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		片山 和宏			
7	理事 ○(監事)	キノ ショウ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		清野 吉雄			
8	理事 ○(監事)	マツムラ ユキオ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		松村 行雄			
9	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

	氏名	
1	渥美隆之	
2	片山和宏	
3	田中義英	
4	遠藤公久	
5	中神百合子	
6	奥原秀盛	
7	大井賢一	
8	田中マユミ	
9	佐藤衣	
10	内山由美	
11	清野吉雄	
12	松村行雄	